

(以下バイノーラル)

くうやお……んっ♥

どうじゃ……主様から見て、嫌なものでなければよいのじゃけれど……。

ここの、尾の付け根の下……雌の場所が、こうしてくちゅり、くちゅりと液を垂らしてしもうておるじやろう？

お主の……主様の精液を啜らせて頂いたお陰で、もうずつと……この様(さま)なんじゃ♥  
どうじゃあ、のお……あるじさまあ♥

主様さえ良ければ、早くその……雄々しくそそつておる、ワシの雌をこんなに刺激した雄の証で、ワシの中を……膣を、雌狐である事を実感させて、欲しいんじゃあ……っ♥

《ばさっ、ばさっ……くちゅ……》

(尻尾を振りながら、雌の場所を見てもらおうとお尻を向ける音)

《くちゅ……ずぷっ！》

(挿入音)

くやあっ！？

くあ……う、おおん……っっ♥

はああ……あるじい、さまあっ♥

そうじゃあ……、くあおんっ♥

そうして、欲しいんじゃ……ああっ、んんっ♥

もつと、もつと激しくしてくれて構わぬのじゃ……いや、もつと激しくして欲しいん、じゃっ♥

お主が……主様が強く、ワシの腰を掴んで、突いてくれる度に……ワシが、ナコがここにおるのだと感じられる……あっ、くあ、うやああっ♥

はあ、はあ……あるじさまあっ、もつといっぱい……ナコを、ナコを突いて、苛めて(いじめて)、……主様のところで、熱くて、愛おしい精液をおっ……いっぱい中に注いで下さいなのじゃあっ♥

《ずっ、ぱんっぱんっぱん！》

(挿入が始まった音、以下背景ですっと流れます)

あっ、はっ、んっ、やっ、んやあ♥

ある、じ、さまあっ♥

あっ……ううんっっ♥

そうじゃあ、この体勢があっ♥

獣らしく、全部挟ってもらえるっ、鴨越え(ひよどりごえ)の、主様を深く感じられる体勢があ……っ、好きなんじゃあっ♥

ずんっつて……ずんっつて！

あるじさまのが、ナコのをぐちゅりつて広げててえ……ひやあっ♥

くうあっ♥くあおんっっ♥

はあっ、あっ、あっ……んあっ♥

いいの、いいのじゃあ……ああ、くああおんっ♥

主様の熱を感じる毎(ごと)にっ！

ナコは、まだ……ああっ♥

ここにて、よいのじゃと言われておるようで……求められて、存在していると感じられてっ、嬉しく

てたまらない、のじゃあつ♥

んんんうつ♥

ああ♥腰が突かれると……っ♥

尾も、跳ねて……暴れる、のじゃあつ♥

ワシの液を、主様が、掻き出す……からあつ♥

突かれて、出てく……一回毎にっ♥

びしゃ、びしゃつて……ワシの尾が濡れて、ぐっしより、どんどん……湿っていく、のっ……っつ、ふ

やあんっ、くああおんっつ♥♥

んんっ!？

んっ……くちゅ、ぴちや、くちゅ……くや、うんっ……♥

ワシに、口吸いをしてくれるのかの……主様あ♥

くふ……嬉しいのじゃ♥

こうして、んんっ♥

ワシの、我俣で……お主にこんなにも、熱く求めて貰えるだけで堪らなく嬉しいのに、その上このように……んっ♥

ちゅう……くちゅ、ぴちや、くちゅ……ちゅっ、ちゅっ、れろお、くちゅっ♥

ぷはあっ♥ ……こんなにも、優しく口を吸われるなど、望外の望みであったというのに♥

あうっ、んんっ♥

あるじさまあ、そんな口を吸いながら、激しく腰を……くやああっ♥♥

はあっ、んっ……あるじさまあ♥

もういちど、口を吸って……くやあんっ♥

もつと、激しく……口も、雌の……膣を、下の口も……どちらも、主様のを絡めて、くださりま

す……かのお？

んっ、ちゅっ、はああ……くやあっ♥

うれし……あるじさまあっ、んんっ♥

ちゅっ、くちゅ、れろお……んんっ♥

はあ、はあ……くやあ、ずぶずぶ、腰がずつと揺れておるのじゃあっ♥

主様のが、出たり入ったり、いっぱいはい、水音を絡ませて……ナコを優しく、激しく苛めて、膣の中の先が吸い付いて、上と下で吸わせて貰って……ふや、んあああっつ♥

ちゅっ、くちゅっ、ちゅっ、ちゅっ、ちゅうっつ♥

ワシはっ♥ナコはあっ♥

こんな、素敵な事をされてはあ……ひやうっ、ああんっ♥

おか、しく……なつて、しまう、のじゃあ……っ♥♥

ふーっ♥ ふーっ♥ ふー……っ♥♥

あるじさまあー♥

ふくっ、んやあー……くああおんっ、ふああうっ♥

も、ワシ……ナコはあ、気持ちよすぎ、てえ♥

手にもう、力が入らな……ひやうっ!？

《ずるっ……ぐちゅりっ!》

（気持ちよすぎて手から力が抜け、顔が床についてしまい、腰を持ち上げる形になり、余計に中へと押し込まれてしまう音）

ふっ、くっ……ああああっ♥ くぁ、くぁおおおんっ♥  
や、ああ♥

力抜けて……腰、持ち上がって……ひうつ、んんああっ♥  
あるじさまあつ♥ あるじさまあつ♥

あるじさまの腰が、ぶちゅんって、ぶつかってくるのじゃああ  
さつきよりも、さらに……くぁおんっ♥

おくう、おくう……ナコのずつと奥の赤ちゃんの場所まで、全部ずつぷりって、入ってきてるん  
じゃあああつ♥

くぁう、くぁお……んんんんっ♥  
も、だめ……だめ、じゃあつ♥

こんなっ、こんな素敵なことをされたらぁ、ナコはぁ……もう、我慢なんか出来ないんじゃあつ♥  
イク、……いつてしまう、のじゃあつ♥

あるじさまにい、ずぷ、ずぷ……いっぱい突かれてえ♥

ナコは、も、う……限界、じゃ、よおつ♥

氣をやつて、しま……う、の……じ、や……ああつ♥  
んっ、ああああつ♥

はぁ、はぁ……そそいであ、そそいであ……あるじさまあつ♥

くぁお、くううんっ……ひやう、ううんっ……はっ、あああああつ♥

さつきい、ナコが飲ませて貰ったぁ、子種汁う……ナコの、雌の口がきゅうきゅう吸い付いてる、そこ  
にいつ♥

そそいであ、あるじさまぁ……っ♥

ふくっ、ふやぁ……あああんっ♥

ある、じ、さまぁ……イ……く、ナコ、も……イ、く……ううううううううっ♥  
く、ぁ……う♥

くぁ……おおううううううんっ♥

《どくっ、びゅるっ……！》

（射精音）

ひゅっ……んんっ♥

ああ、うう……くぁ、お……んんっ♥

尻尾が……主様のが、震えるのに合わせて……揺れて、しまうん、じゃあつ♥

びく、びくって……くぁうっ♥

ワシの中に……どくどくと、主様の子種汁が注がれておるのじゃ……は、う……くぁ、ううんっ♥

分かる、かのう……？

尾の付け根ぐっしより、主様の……お主の液と、ワシの液でぐちりと濡れて、泡立った白いのが  
ついてしまっておるのじゃぁ……あはっ♥

ふー……くぁお……んっ♥

口で啜えて、味わった時も嬉しかったが……はぁあつ♥

こうして、出してもらつておると……尚の事、喜びがある、ものじゃなあ……●

んっ……んんうっ● ……はふ、んっ●

ふふ……すつきり、出したみたい、じゃな？

はあー……●

お主のが満足したら、ワシの尾も落ち着いてくれたようで……ふふ、分かり易くて良いのう、くふっ●

ふー……はあー……●

力が抜けて、だらんとしてしまいおったのう……ワシの尾も、お主のモノも、の？ ……くふふっ●

《なで、なで……》

(頭を撫でる音)

んんっ、ああこら……急にそんな頭を撫でるでないっ●

ふう……んんっ●

くあお……うんっ●

や、あ……耳の、横を……撫でられると……まだ、お主モノが入っておるといふのに……ふう、う

……くや、ううんっ●

だ、ダメじゃ……って●

ただでさえ、こんな終わつたばかりで敏感じゃというのに……そんな撫でられては、はあう……う、んんうっ●●

《ずるっ……ぐちゅり》

(まだ中にあったものが抜け落ちる音)

くあ、う……んんんっ●

ああ……ほれ見よ？ やっぱり、抜けてしもうた。

むう……まだ、お主の熱を、ワシの雌の場所で……膣の中で感じていたかったというのに。

……ふっ、くふ……ふふっ●

本気ではあるが、冗談じゃよ……くっ、ふふっ●

そんな顔をせんでおくれ、ワシは……お主には、主様には感謝しかしておらぬのだから……のっ●

んっ……くあっ、ううん●

ふふ……ずるりと抜けて、注いで貰った子種汁が少し戻ってきておる……●

尾も、雌の場所も……全てどろどろ、白濁の泡まみれで、主様の熱でぐっしよりじゃ●

ふふ……こんなに自分がここに居ると実感出来るのは久しぶりじゃ……くおんっ●

お主……主様？

倒れ、怯え、疲れておったはずなのに……行きずり(ゆきずり)のこんな雌狐に、こんなにも情けをかけて下さつて、感謝しておりますのじゃ。

心の底から主様の精と熱を感じさせて頂いて……酔いに酔わせて貰ったのじゃ● 本当に、有難う御座いますなのじゃ、主様●

お主の……主様から頂いたこの熱があれば、ナコはもう数百年ぐらいならば自分を感して居られると、そう思つておるのじゃ。

……ふふ♥

せめてものお礼に、ここに主様が居てくださる間は、主様に不便は与えぬよう……頑張らせて頂  
きますからのう♥ くぁおうんっ♥